

令和7年度 学校評価結果（後期）

お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。1月に実施した後期学校評価の集計結果をご報告申し上げます。今年度から、前期、後期2回実施しています。前期にいただいた意見については改善に努めてまいりました。今回いただいた課題等の改善点につきましては対策を検討し、実施していきますので今後も引き続きご支援ご協力をよろしく申し上げます。尚、外部評価重視の観点から保護者のみ昨年度の結果を併記してあります。

(保護者回答率 78.6%)

4: そう思う 3: 少し思う 2: あまり思わない 1: ほとんど思わない

↑ ↓ …0.2ポイント以上増減

アンケート項目		児童 R7後	児童 R7前	児童 R6	職員 R7後	職員 R7前	職員 R6	保護者 R7後	保護者 R7前	保護者 R6
学校生活全体	① 真砂東小の雰囲気は全体的に明るく元気な感じがする。	3.6	3.7	3.7	3.6	3.5	3.6	3.6	3.6	3.6
	② 学校生活に満足している。	3.6	3.6	3.6	3.5	3.4	3.4	3.5	3.4	3.5
	③ 学校の決まりをよく守って生活している。	3.6	3.5	3.6	3.1	3.1	3.2	3.6	3.6	3.5
	④ 何か困ったときは、安心して相談できる人がいる。	3.5	3.4	3.5	3.4	3.4	3.5	3.4	3.3	3.6
	⑤ あいさつがしっかりできる。	3.7	3.6	3.6	2.5↓	2.7	2.8	3.2	3.2	3.6
	⑥ 先生は子どもの話をよくきいてくれている。	3.7	3.6	3.8	3.5	3.5	3.5	3.4	3.4	3.3
	⑦ 食事の大切さを考えて給食を食べている。	3.6	3.5	3.5	3.1↑	2.9	3.2	3.3	3.2	3.3
授業学習	⑧ お子様は授業に集中し、話を聞いている。	3.6	3.6	3.6	3.2	3.2	3.3	3.3	3.3	3.2
	⑨ 授業の内容をだいたい理解している。	3.6	3.6	3.5	3.5↑	3.2	3.3	3.4	3.3	3.2
	⑩ 先生はわかりやすくするために、授業に工夫をしている。	3.7	3.7	3.7	3.4	3.4	3.5	3.5	3.5	3.3
	⑪ 宿題や課題などの提出物を出している。	3.6	3.6	3.7	3.3	3.3	3.3	3.5	3.6	3.3
	⑫ 体育の時間や業間休みに十分体を動かしている。	3.4	3.4	3.5	3.0	2.9	3.3	3.4	3.4	3.2
	⑬ 係活動(委員会・ボランティア)等に進んで取り組んでいる。	3.5	3.5	3.6	3.4	3.3	3.4	3.4	3.5	3.2
その他	⑭ 学校・学年便り等により、学校の様子がよく伝わっている。	3.5	3.5	3.6	3.3	3.3	3.5	3.3	3.3	3.2
	⑮ 学校内(教室・廊下・校庭等)の環境はきれいに整っている。	3.5	3.5	3.5	3.4↓	3.6	3.4	3.4	3.5	3.2
	⑯ 学校は地域(保護者等)と繋がるような活動をしている。	3.5	3.5	3.6	3.3	3.3	3.4	3.5↑	3.3	3.3
平均		3.58	3.54	3.60	3.27	3.26	3.34	3.42	3.39	3.42

裏面もご覧ください。

(1) アンケート①～⑯の結果の考察

全体として、前期と比較して大きな変化はなく、児童、職員、保護者ともに学校運営を概ね高く評価していることがわかります。特に、児童の自己評価が高い傾向が維持されて自信をもって生活していることが伺えます。

児童アンケートでは、特に項目⑤「あいさつがしっかりできる」、⑥「先生は子どもの話をよくきいてくれる」、⑩「先生はわかりやすくするために、授業に工夫をしている」は3.7と高い値であり、児童の主体的な生活態度とそれに応える教師の傾聴姿勢、指導への情熱がよい学習環境を構築していると考えます。しかし、⑫「体育の時間や業間休みに十分体を動かしている」の数値は低いままです。身体活動の充実が課題として浮き彫りになっており、体育授業内での運動量の確保や休み時間等での運動の楽しさや大切さを教えるなどして見直していく必要があります。

保護者アンケートでは、⑯「学校は地域（保護者等）と繋がるような活動をしている」は、0.2ポイント評価が上がりました。また、①「真砂東小の雰囲気は全体的に明るく元気な感じがする」、③「学校の決まりをよく守って生活している。」は、保護者、児童ともに3.6以上と評価が高かったです。地域とのつながりが、学校を明るくし、児童のマナーも良くなるという良いサイクルが生まれています。

⑤「あいさつがしっかりできる」は、児童の自信と教職員が求めている基準の差が大きいです。児童の意欲を認めつつ目指すべき挨拶の姿を具体的に示し、教職員が手本となって浸透を図っていきます。

(2) アンケート⑰保護者のご意見・ご要望から

54件の記述回答がありました。貴重なご意見、ご要望をありがとうございました。後期の意見としては個別の意見が多かったですが、「学習指導・ギガタブの活用、学校・クラスからの情報発信、安全管理」等の意見が複数ありました。

一方で、「学習指導の工夫・子供への配慮、行事の充実、情報発信」などに対する感謝のご意見も数多くいただきました。

すぐに改善できないご意見、ご要望もありますが、ご指摘いただいた点を謙虚に受け止め、ご意見を活力にしながら、できることは改善していき、「子どもが安全・安心に登校できる学校」「満足して下校できる学校」をめざして頑張っていきたいと思っております。

学校側で改善、対応していくもの(今年度対応済を含む)をいくつか紹介します。

1、教職員の指導について

①学習指導

わかる授業を推進するため学年によっては交換授業を行い教員の専門性を生かしながら指導しています。さらに、児童の実態を適切に把握し、習熟度に応じたきめ細かな指導や興味をもつような授業の工夫をしてきました。研究授業を実践し、外部講師から当日の授業の指導をいただただけでなく、日々の授業の進め方や指導する際の教材の捉え方等、授業力の向上に向けて研修を行いました。引き続き授業力の向上を目指し研修に励んでいきます。

②生活指導

教職員の指導に対する不信感や感情的な対応への指摘については真摯に受け止め、管理職との面接の際に個別に指導したり、全体へ周知をし、改善を図っています。さらに教職員が児童に寄り添った適切な指導の徹底を目指していきます。

2、ギガタブの扱いについて

基本的には千葉市教育委員会が作成した「ギガタブの使い方ルール」に準じて使用しています。学習のための道具として、目的とそのため活用のについては、教職員間の情報共有をさらに密にしていきます。学校統一のルールについては、検討しているところです。新年度を目途にまとめていきたいと考えています。

いただいた、ご意見、ご指摘を改善し、さらにお子様も充実した学校生活を送れるよう改善を図ります。今後、しばらくの間、児童数が増加していきます。保護者の皆様におかれましては、施設、環境の面でご不便をおかけすることがあると思いますが、お子様の教育環境を良い状態で維持できるように努力していきますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。